

放課後等デイサービス評価表 集計(事業所等向け)

配布 8名 回答 8名

事業所名: 森下 児童課

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答				
環境・ 体制整	1 利用定員とスペースの関係	5	1	2		状況に応じた部屋割りをしている。用途によって部屋を使い分けている為、利用者が分散しスペースが確保出来	遊びによって部屋を分けている。	利用者が遊ぶスペースが狭い。	
	2 職員の配置数	6	1	1		配置基準に従い、適切に配置している。	送迎に人数が不足する事がある。定員に対しては適切でも余裕がほしい。	2部屋を一人で見ている時がある	
	3 バリアフリー化の配慮			8		肢体不自由な利用者にとっては、階段や段差は危険であるが、職員が見守り、介助をしている。	車いすの利用者がいるが、スロープは無い。	段差が多いので見守りには十分注意している。	
業務改善	4 PDCAサイクルへの職員の参画	6	2			職員会議や、朝礼で話し合っている。	PDCAサイクルの意味を全職員が理解し、意識しながら業務を遂行していきたい。	半年ごとに個別支援のモニタリングを行っている。	
	5 アンケート調査の業務改善へのつながり	6		1	1	事業所内でも周知できるように公表している。集計後職員会議で話し合っている。	保護者からの意見を参考にしながら職員間で検討し業務改善に努めていきたい。	初めての為、無回答。	
	6 評価の公開	7				懇談会で説明し資料を渡している。	事業所内でも周知出来るよう公開している。	初めての為、無回答。	
	7 外部評価の業務改善へのつながり	7				1	監査で指摘があった部分は速やかに改善している。	評価結果を再度職員会議で確認している。	初めての為、無回答。
	8 研修の機会の確保	8					内部研修は全職員が参加し、外部研修もそれぞれの能力に合った内容の研修に参加している。	社内・社外研修に参加させて頂き、勉強になっている。	
適切な 支援の 提供	9 適切なアセスメントによるサービス計画の作成	8				職員同士の話し合いを定期的に行っている。	相談の計画書をもとに保護者のニーズをくみ取り、利用者の能力も引き出せるような目標を設定している。	個別面談を行いニーズや課題を職員で話し合い作成している。	
	10 アセスメントツールの使用	5	2		1	アセスメントシートを使い利用者の今の状況を把握している。	個人のアセスメントシートを作成しているが、あまり使っていない為、今後は活用していきたい。	初めての為、無回答。	
	11 チームでの活動計画立案	7		1		職員会議で話し合っている。担当者を中心に作成した原案を職員間で検討、共有している。	職員同士で助言をしながら行っている。		
	12 活動計画の工夫	8				他事業所も参考にしている。季節やイベントの活動を取り入れている。	各月のの立案担当を決めている。	担当になった場合いまままでに無い活動を考えている。	
	13 時候に合わせた活動計画	8					休日・長期休暇は1日に2回活動を行ったり、外出や調理活動に取り組んでいる。		

放課後等デイサービス評価表 集計(事業所等向け)

配布 8名 回答 8名

事業所名: 森下 児童課

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答			
	14 利用者の状況に合わせた活動計画	8				個別には制作等、集団活動ではチームに分かれて運動している。	個別と集団の両方の視点から支援計画を作成している。	
	15 支援内容や役割分担の確認	7		1		朝礼で利用者の状況を把握し活動内容等の確認を共通した支援を行っている。	立案担当者が活動の説明し統一された支援ができるようにしている。	支援開始前には、活動・支援内容や役割分担を確認している。
	16 支援の振り返りと共有	6		2		その日不在の職員にも伝わるように業務日誌に記載している。	朝礼や、利用者が帰宅後に話し合っている。気付いた点はその都度上司に報告し、改善策を話し合っている。	緊急な時以外は朝礼で行っている。
	17 記録の徹底	8				起こった出来事を職員の連絡帳にも書き、朝礼等で話し合っている。	利用者の様子を正確にケース記録に記載し、必要に応じて読み返している。	児童発達支援管理責任者に記録を見てもらっている。
	18 定期的なモニタリング	8				半年で行っている。	職員間で意見を出し合い利用者にとって適切な支援方法を検討している。	
	19 ガイドライン	7	1			日常生活動作や自立に向けた活動内容を取り入れている。	複数の活動を個々の利用者に合わせた支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20 サービス担当者会議への参画	7	1			児童発達支援管理責任者が参加し、事業所職員に伝達している。		
	21 学校との情報共有	8				状況に応じ連絡できるようになっている。	それぞれの場所での様子を報告し、必要に応じて支援会議を開き、共通した支援を行っている。	学校送迎時に情報を交換し、必要に応じて関係機関と支援会議を行っている。
	22 主治医との連絡体制	3	2	3		主治医は確認できており、看護師が連絡調整している。	現在医療的ケアを必要とする利用者はいないが利用する場合は主治医と連絡、情報交換をしていきたい。	緊急時の連絡先やかかりつけの病院は把握している。
	23 就学前の各機関との情報共有と相互理解	3	1	3	1	相談事業所と連絡をとり、実際に保育所等に行き利用者の様子を見学している。	今後はもっと密な情報共有ができるようにしていく。	初めての為、無回答。
	24 サービス移行での情報提供	4	1	2	1	当事業所から卒業先へ連絡をする事はあまりないが聞かれた場合には情報を提供していきたい。	相談支援員を通して行っている。	初めての為、無回答。
	25 専門機関との連携、助言・研修	4	2	1	1	研修等で利用者の事例を出し助言を頂いている。	研修に参加している。全体研修に招き研修を受けている。	初めての為、無回答。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流			2	6		事業所としてはないが、子供たちがそれぞれ行っている。	地域の(障害のない)子と切り離されないように交流や活動する機会を設けたい。
27 協議会等への参加	1	1	5	1		相談支援員が参加している。		初めての為、無回答。

放課後等デイサービス評価表 集計(事業所等向け)

配布 8名 回答 8名

事業所名: 森下 児童課

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答			
	28 状況・課題について保護者さんとの共通理解	6	2			お迎えに来られた際や自宅送迎の祭りに行っている。	毎日の活動の様子を連絡帳に記入している。	利用者の様子を報告し、家庭の情報も聞き取るよう努めている。支援の変更等がある場合はその都度保護者に
	29 ペアレント・トレーニング等の支援	2	2	4		知識が足りない為、ペアレントトレーニングを十分に学んでから実践していきたい。		
保護者等への説明責任等	30 規定・支援内容等の丁寧な説明	7	1			事前の面談でしっかりとおこなっている。	契約時に説明をし同意を得ているが、支援内容についてはその都度話をしている。	契約時に丁寧な説明を心掛けている。懇談会でも説明を行っている。
	31 助言と支援	6	1	1		相談を受けた際は児童発達支援管理責任者に報告し助言と支援を行っている。	自信をもって答える事が出来ていない為、知識を増やし適切な助言が出来るよう努めていきたい。	職員間で話し合い、管理者からも助言を受けている。
	32 保護者会の活動への支援	5	2		1	保護者会との事前の話し合いを密に行っている。	保護者会行事には積極的に参加し、楽しく参加してもらえるようにサポートしている。	初めての為、無回答。
	33 苦情についての対応	8				苦情受付担当者に報告し対応してもらっている。	苦情受付窓口を設置し、重要事項説明書に記載している	第三者委員会を設置し、保護者にも説明している。苦情があった場合職員間でも話し合い迅速に対応するよう心
	34 情報の発信	8				法人としては年4回、事業所では月1回広報を配布し、事業内容や利用者の様子を保護者に知らせている。	月一回お知らせ版を発行し利用者の様子を知らせている。	
	35 個人情報	8				最善の注意を払っている。		
	36 意思の疎通・配慮	8				連絡帳に記入したり、口頭で行っている。	それぞれの利用者に合わせてコミュニケーションを取り保護には、話しやすい環境を提供できるように努めている	
37 地域に開かれた事業運営			1	7	地域との交流をはかれる様工夫したい	今後は地域の方を招待できるような活動を考えていきたい。	お互いの行事に行き来出来るような関係性を作っていきたい。	
非常時等の対	38 職員・保護者へのマニュアル周知	2	4	2		職員には周知されている。保護者には感染症予防と対応の文章を出している。	職員にはマニュアルがあるが、保護者には説明はされているかわからない。	マニュアルは策定しているが、理解できていない部分もある為、しっかりと読み込み、保護者にも説明できるように
	39 避難訓練	8				年4回要綱に沿って避難訓練を実施している。	様々な非常災害を想定した訓練を行い、避難場所等も把握している。	
	40 虐待防止のための対応	8				全体研修を行い月1回自己チェック表でチェックを行っている。	研修に参加し職員は朝礼や、職員会議棟で報告している。	研修に積極的に参加し、法人として委員会も設置して虐待防止に努めている。
	41 身体拘束	5		3		現在身体拘束を行う場合がある利用者はいないが、可能性がある利用者に対しては、事前に了解を得て記載し	現在は個別支援計画に記載していないが、今後は虐待防止委員会での決定事項に従って同意書等を進めてい	

放課後等デイサービス評価表 集計(事業所等向け)

配布 8名 回答 8名

事業所名: 森下 児童課

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答			
応	42	食物アレルギーの対応	5	2	2		アレルギーのある食べ物は、購入時に買わないように心掛けている。	アレルギー結果の用紙をコピー、保管し事業所でのおやつや調理時には、細心の注意を払っている。	医師の指示書を職員共有し、対応できるようにしている。
	43	ひやり・はっと	8				会議で報告し対応策を話し合っている。	朝礼、職員会議で改善点を出し合い、同じ事が起きないように職員間で周知している。	